

行政視察等報告書

令和3年2月10日

米子市議会議長様

会派名 信風

代表者氏名 中 田 利 幸

提出者氏名 伊 藤 ひろえ



下記のとおり報告します。

記

| | |
|--|---|
| 項 目 | <input type="checkbox"/> 現地調査 <input type="checkbox"/> 行政視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 <input checked="" type="checkbox"/> 研修会への参加 <input type="checkbox"/> 会議への参加 |
| 参加者 | 伊藤 ひろえ |
| 期 間 | 令和2年11月11日から令和3年1月30日まで |
| 〔概 要〕(年月日・場所・内容) 【ウェブ等受講】 放送大学教養学部受講 1 地域コミュニティと教育 2 高齢期の生活変動と社会的方策 3 障害を知り共生社会を生きる 4 今日のメンタルヘルス 5 教育のためのICT活用 6 家族問題と家族支援 7 ソーシャルシティ 8 少子社会の子ども家族福祉 | |
| 〔所 感〕 別添のとおり | |
| 経 費 | 受講料等総額 95,770 円 |

放送大学教養学部受講報告
Web 通信指導システム

2020年9月～2021年1月

信風 伊藤 ひろえ

コロナ禍により、県外や市外等の現地調査が困難となったため、市政に関わる8科目の興味深い課題を選んで、書籍、ラジオ、テレビ、Web等で受講した。2020年11月には課題の提出、2021年1月は自由課題の提出や試験を受け、学びを深めることができた。いずれの科目も、わかりやすく、根拠法令やその考え方、歴史的な背景なども学べ、先進例や具体的な施策も学ぶことができ、大変有意義な調査研究となった。

■地域コミュニティと教育

講師：玉井康之氏（放送大学客員教授・北海道教育大学副学長）

講師：夏秋英房氏（放送大学客員教授・国学院大学教授）

米子市が進めつつある、コミュニティスクールと運営母体の学校運営協議会について深く学ぶことができた。また、地域による学校づくりの学びを通して、地域に愛着を感じたり地域の宝を再確認し誇りに感じたりすることに繋がると確信した。教育と地域の関わりについて、具体的施策が示されており、米子市の取り組みの中で活かしていきたいと思った。

■高齢期の生活変動と社会的方策

講師：山田知子氏（放送大学教授）

現在、米子市の高齢化率は30%弱であり、独居世帯の増加に伴い孤立や生活困窮の課題がある。人生100年時代を迎え、高齢期の生活様式の変動と様々な社会的方策を探ることができた。

■障害を知り共生社会を生きる

講師：吉川雅博氏（放送大学客員教授・愛知県立大学教授）

共生社会を構築していくうえで、障がいへの理解を深めることは大変重要だと改めて考えさせられた。障がいはその人の問題ではなく、無理解や社会的な障壁により生き辛くなっていると理解できた。また、様々な障がいがあることを知ることができた。先進国なかでは障がいの理解や取り組みが遅れているが、障がい者の率は低いことがわかった。

■今日のメンタルヘルス

—健康・医療心理学の実践的展開—

講師：石丸昌彦氏（放送大学教授）

近年問題となっているメンタルヘルスについて、様々な症状や事例を医学的な観点からも学んだ。マタニティブルー他産後うつ、PTSD、依存症といった、行政の窓口ではまだまだ十分に組み込まれていない分野も理解できた。今後はさらに、解決すべき課題となることは間違いないと考えるので深く知っておく必要があると思った。

■教育のための ICT 活用

講師：中川一史氏（放送大学教授）

講師：苑 復傑氏（放送大学教授）

教育のための ICT 活用を学び、議会や会派の要望に大いに役立った。タブレット端末の活用方法や、それを指導する教職員に向けた研修の確保、また併せて体系的な教育全般の中の ICT 活用等学ぶことができた。さらに、具体的な先進事例や図解や写真による表記の方法等とてもわかりやすく理解を深めることができた。

■家族問題と家族支援

講師：下夷美幸氏（放送大学教授）

日本人の国民性調査から、家族問題と家族支援について興味深く学習することができた。家族の重要性は言うまでもないが、個別の家族が抱える問題についての支援策は先進国の中で遅れている分野だと思った。子どもの貧困、いじめ、虐待、DV 等の課題も浮き彫りとなり対応が急がれると思った。学んだことを、議会質問に活かすことができた。

■ソーシャルシティ

講師：川原靖弘氏（放送大学准教授）

講師：斎藤参郎氏（放送大学客員教授・福岡大学教授）

ソーシャルシティの定義は、モバイルインターネットなどの ICT 技術や SNS を人と人とのコミュニケーションの手段として活用し、コミュニティ形成やまちの活性化の仕掛けに結びつく都市で、具体例や研究事例をあげてあったので興味深く学ぶことができた。米子市がめざすウォークアブル推進都市に関連し、人の賑わいをどのように創っていくかということに繋げることができた。

■少子社会の子ども家庭福祉

講師：山縣文治氏（放送大学客員教授・関西大学教授）

子どもに関わる様々な法令やその関連法等、その歴史や背景をおさえながら、体系的に整理されており、改めて少子社会の課題や、子どもの家庭福祉の重要性を学ぶことができた。